

教育 ICT ソリューション販売パートナーの皆様へ

# NEXT GIGA を勝ち抜くために

マイクロソフト 認定制度・技術支援を活用ください

クラウドベースでのデバイスの展開・運用の基礎～運用可能レベルまで知識を学んでいただいた上で、GIGA スクール構想での即戦力となる、ノウハウを提供する販売パートナー様向け認定プログラムを2段階でご提供します。



**ゼロタッチデバイス管理パートナー**  
ステップ1

Microsoft Intune / Windows Autopilot を活用した、モダン PC 管理

デバイスをクラウド経由で安全・簡単に運用。ゼロタッチに関するノウハウを有するパートナー。

- Microsoft Intune を活用し、あらゆるデバイスをクラウド経由で管理、運用する提案が可能となります。
- Windows Autopilot を利用することで、デバイスを箱から出してすぐに、ユーザーが ID とパスワードを入力するだけでデバイスが自動で展開されます。従来のキッティングより、75% の作業時間を短縮できます。\*1

\*1. Identifying and prioritizing growth segments for Windows Autopilot: Forrester, 2020. Report commissioned by Microsoft.

公開済み



**GIGA ソリューションパートナー**  
ステップ2

マイクロソフト 教育 ICT ソリューションスペシャリスト

GIGA スクールに特化したノウハウを持ち、学校 ICT の活性化を促進できるパートナー。

- 学校環境に更に特化したモダン IT・ゼロタッチ運用が提案可能となります。
- School Data Sync を使い、児童・教師・保護者など、学校運営に必要なあらゆる情報を紐づけ、管理することで校務・教務の負担を軽減する提案が可能となります。
- Learning Accelerators を始めとした AI を含めたマイクロソフトの最新教育ソリューションを提案することができます。

本認定の詳細は 2023 年秋に公開いたします

## 認定を受けるためには以下が必要です。

お申込みのタイミングで要件に満たない場合には受講をお断りすることがございます。お申込み方法は次ページをご覧ください。

### ゼロタッチデバイス管理パートナー

- PC、Microsoft 365 の導入支援を行うリセラーであること。
- Microsoft 365 の提案が可能であること。
- ゼロタッチ導入・展開に興味・ビジネス機会を感じる事。
- 最低 1 名の技術者、または相当する技量を持った担当者が企業に在席していること。担当者がマイクロソフト指定の認定プログラムを受講・認定プログラムを完了する事。

### GIGA ソリューションパートナー

- 学校法人・自治体に対し GIGA スクール関連ソリューションの提案経験・コネクションがあること。
- Microsoft 365 の提案が可能であること。
- 最低 1 名の技術者、または相当する技量を持った担当者が企業に在席していること。担当者がマイクロソフト指定の認定プログラムを受講・認定プログラムを完了する事。
- 「ゼロタッチデバイス管理パートナー」の資格を既に自社で所有していること。

## 認定のメリット

- 認定された企業は認定パートナーリストとして、企業情報をマイクロソフトのウェブサイト上で告知、マーケティング活動の中で優先的に宣伝されます。
- ご紹介できる案件が発生した場合、認定パートナーを優先的にお声がけします。
- プリセールスの為の技術・検証支援が必要な場合の窓口を提供します。(本資格を有する担当者からに限り。流通各社様経由でのお問い合わせを検討しております。)
- 最新の情報を提供するイベント・勉強会へ優先的にご招待します。
- 認定パートナー支援のためのコミュニティ (Teams グループ) へご招待。
- 認定者にはロゴデータを提供します。ロゴデータは同送するガイドラインに沿って、自社のウェブサイト、名刺などの媒体に自由に利用可能です。



# ゼロタッチデバイス管理パートナー認定プログラムの流れ

デバイスの管理をクラウドで！

NEXT GIGA に向け、まず Intune / Autopilot について知識をつけて頂くために、

認定者がソリューションを即時提案できることを目標とした実践的なトレーニング・公式資格取得のためのコースを提供します。

(認定取得までにかかる想定時間 10 時間～20 時間)

1



セールス



プリセールス



技術者

(自社より最低 2 名の視聴必須)

## マイクロソフトのゼロタッチ Intune / Autopilot 紹介オンデマンド ウェビナー (約 90 分)

Intune / Autopilot の概要、ビジネスメリット・事例・セールストークについてご説明します。

【方法】以下 URL より申し込み、即時受講可能

<https://mktoevents.com/Microsoft+Event/410630/157-GQE-382>

2



認定希望社 ご担当者様

## 企業、受講者の情報を記載の上メールにて連絡ください。

事務局より追ってご返信します。\* 事前に認定のメリットについて社内で検討の上申請をお願いします。

【方法】下記情報を入力の上 [dpscertainment@microsoft.com](mailto:dpscertainment@microsoft.com) に申請

1. 会社名 (フリガナ) 2. 所属部署 3. 肩書 4. 役職 5. 氏名 (フリガナ) 6. 電話番号 7. コンタクト先 住所 / メールアドレス / 電話 / 部署名など

8. 本プログラムをご紹介した企業名をお教えてください

(マイクロソフトのウェブサイトに掲載され、エンドユーザーから問い合わせが入ります。)

3



技術者

## エディフィストラーニングによるゼロタッチ認定トレーニング受講

オンサイト・オンライン選択可能 3 時間の座学 (AM)・3 時間のハンズオン (PM) 終日実施

【方法】事務局よりご案内

4



技術者

## エンドポイント管理者 認定資格 MD-102 取得のための解説動画視聴 (6 時間)

12 月中旬より提供予定

\* 本動画視聴が無くても MD-102 が取得可能な場合、視聴は必須ではありません。

【方法】事務局より視聴 URL ご案内

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/credentials/certifications/exams/md-102/>

5



技術者

## エンドポイント管理者 認定資格 MD-102 取得

MD-102 の日本語版の開始は 11 月中旬ごろを予定しております。

21,103 円の費用がかかります。\* 2023 年 9 月の価格となり変更の可能性があります。

6



認定希望社 ご担当者様

## 事務局へメールにて下記の情報を記載して連絡 → 事務局より認定のご連絡をいたします。

- オンデマンドの視聴履歴が分かるスクリーンショット
- 技術トレーニング受講情報 (オンラインのみスクリーンショット提出。オンサイトは不要)
- MD-102 資格取得トランスクリプトの URL 送付 (事務局よりご案内します)

認定

認定の特典 (技術支援・ロゴ・コミュニティなど) について事務局より追ってご連絡いたします。

\* 認定社のマイクロソフトウェブサイトへの掲載は 1 か月に 1 度の定期実施となります。

# ゼロタッチデバイス管理パートナーに関するよくある質問

既にゼロタッチ運用の実績がありますがトレーニングの受講は必須ですか？

ゼロタッチデバイス管理パートナー認定については、一部の認定の工程を割愛できる可能性があります。事務局にご相談ください。事例などについて確認をさせて頂き判断いたします。

ゼロタッチのオンデマンドウェビナーを受講する必要性について教えてください。

認定トレーニングは、Intune、Autopilotの概要・基礎を理解頂いている方向けになります。また、具体的な運用例や、セールストークについて説明します。(既に概要が分かっている場合には、技術者の方の受講は不要です、営業・プリセールスの方には受けて頂きたく、検討ください)

オンサイト(実地)トレーニングはいつどこで実施されますか？

事務局より、最適な会場・タイミングをご連絡いたします。参加者社一覽を拝見し、地方開催も予定しております。

オンライントレーニングはハンズオンはない理解です。

事前に配布した演習資料を見ながら実施頂く方を予定しており、オンサイトで研修と内容にできる限り差異が無いよう配慮します。

ゼロタッチの認定トレーニングはどの企業から提供されますか？

エディフィストラニング(株)から提供予定です。トレーニング内容はマイクロソフトによって監修されますが、内容・実施は委託となります。

<https://www.edifist.co.jp/>

MD-102 取得のメリットについて教えてください。

マイクロソフトの認定資格は取得頂くことで、その分野のプロフェッショナルであることの証明となります。特に Azure などの資格の多くが技術者のスキル証明として扱われるように、この資格が多く認知され、活用されるよう今後積極的なマーケティング活動を行ってまいります。

マイクロソフト Specialization プログラムをご存じでしょうか？本プログラムのモダンワークの中の、「エンドポイントの最適化」に関する認定内容に、MD-102 の取得がございます。今後マイクロソフト全社として、Specialization 取得パートナー様のご支援を強化する計画もございます。ぜひ本プログラムを今後の DX 推進のための第一歩としてご活用ください。

[プログラムの概要について知る](#)

MD-102 に受からなかった場合どうなりますか？費用はどうなりますか？

再受講が必要となり、試験費用は再度必要となります。

MD-102 の難易度を教えてください。

通常の運用ではあまり使わない、やや難易度の高い内容も含まれます。運用経験のある技術者の方であっても、事前の演習なしの合格は難しい内容になります。

複数人・地方の支店の技術者にも認定を取らせたいのですが、どのようにすればいいのでしょうか？

本プログラムについては、多くの反響をいただいておりますため、全体のバランスをみて判断をさせて頂きたく、まずどの支店で何名に認定を取らせたいかを事務局にご連絡ください、担当者よりヒヤリングをさせていただきます。

受講者・認定者が離職しました。

事務局へご連絡ください。他の担当者の方が再受講されるまで、認定は停止・マイクロソフトのウェブサイトからも表記を削除いたします。

複数の支店があるのですが、どのようにすればいいのでしょうか？

各支店(エリア)で1名ずつの受講を推奨します。マイクロソフトのウェブサイト上では、県別に認定企業を掲載します。各支店で受講頂くことで、認定者の方のいらっしゃる支店名を記載することが可能です。

認定は一度取得すれば永続的に利用できますか？

認定資格者が離職した場合には、認定パートナーリストの掲載が停止します。半年1回を目的に事務局より在籍の確認を行います。認定後定期的に事務局より、提案・案件状況のヒヤリングを行います。また、最新情報を発信するイベントなども企画いたします。1年以上提案が行われていない、またイベントへのご参加などもない場合、連絡が取れないなどの場合には、認定がキャンセルとなる可能性があります。

ご不明な点がございましたら認定パートナー事務局へご連絡ください。

[dpscertification@microsoft.com](mailto:dpscertification@microsoft.com)

\* 認定プログラムのみの内容に回答し、技術に関する質問にはお答えできません。内容によってご回答まで数日かかる可能性がございます。